

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり19.03人の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、多い状況が続いています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

定点当たり4.00人の報告があり、増加が続いています。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まります。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

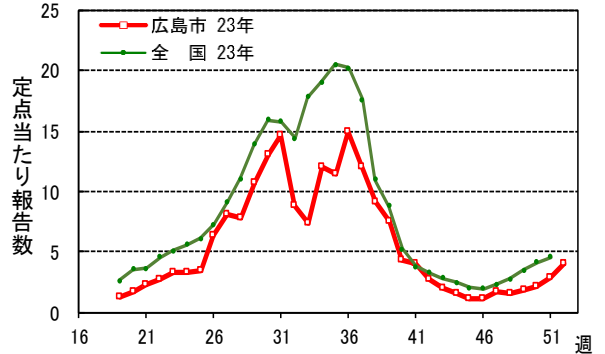
3 梅毒

4件の報告がありました。(次ページ参照)

4 流行性角結膜炎

定点当たり2.50人の報告があり、増加しています。流行性角結膜炎は、感染力が強く、小児から大人まで幅広い年齢層で見られます。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	685	19.03	5.24	↗	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.25	
	新型コロナ(COVID-19)	144	4.00		↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.19		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	104	4.52	0.33	↗		流行性角結膜炎	20	2.50	0.25	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	3.87	1.07	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	137	5.96	6.68	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.29			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	手足口病	9	0.39	0.57	↓		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.22			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	
	突発性発しん	3	0.13	0.21							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	130	80歳代・2人、90歳代・1人
4	デング熱	1	3	30歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	34	70歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	11	30歳代・感染者
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	80歳代
5	梅毒	4	272	20歳代・3人、50歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	11	90歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	(COVID-19)	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			第48週	995	56	1	108	99	117	3	26	-	4	6	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-
第49週	1,537	64	-	161	89	107	6	17	-	3	3	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第50週	1,199	76	2	132	99	161	5	22	-	6	2	3	1	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
第51週	824	101	1	136	100	185	1	18	1	4	5	1	-	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
第52週	685	144	1	104	89	137	1	9	-	3	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第48週	27.64	1.56	0.04	4.70	4.30	5.09	0.13	1.13	-	0.17	0.26	0.04	-	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-
		第49週	42.69	1.78	-	7.00	3.87	4.65	0.26	0.74	-	0.13	0.13	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
		第50週	33.31	2.11	0.09	5.74	4.30	7.00	0.22	0.96	-	0.26	0.09	0.13	0.13	1.25	-	0.14	-	-	-	-	-	-
		第51週	22.89	2.81	0.04	5.91	4.35	8.04	0.04	0.78	0.04	0.17	0.22	0.04	-	2.00	0.14	-	-	-	-	-	-	-
		第52週	19.03	4.00	0.04	4.52	3.87	5.96	0.04	0.39	-	0.13	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	第50週	29.95	4.15	0.06	3.49	5.04	6.51	0.18	0.45	0.01	0.21	0.05	0.03	0.02	0.98	0.03	0.04	0.07	-	-	-	-	0.02	
	第51週	23.13	4.57	0.06	3.31	4.68	6.52	0.17	0.38	0.01	0.21	0.06	0.03	0.02	1.03	0.01	0.03	0.12	-	-	-	-	0.01	

■ 新たに判明した病原体検出状況

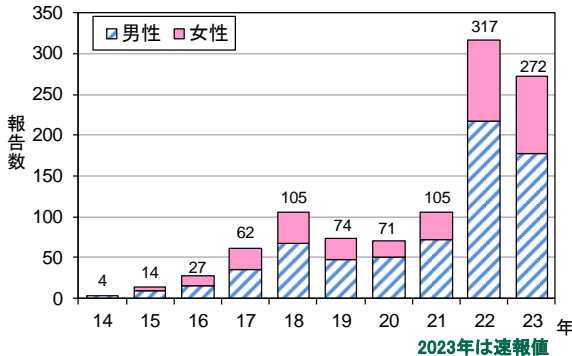
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(38.0°C) 頭痛	7	2023/10/17	咽頭拭い液	エンテロウイルス71型
インフルエンザ	発熱(40.1°C)	8	2023/11/11	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
流行性角結膜炎	結膜充血 流涙	74	2023/10/29	結膜擦過物	アデノウイルス56型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	55	2023/11/03	結膜擦過物	アデノウイルス56型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂 瞼結膜の発赤	53	2023/11/03	結膜擦過物	アデノウイルス56型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における梅毒の発生動向について

梅毒の年間報告数の推移(広島市)



2023年の累計報告数は272件(速報値)となり、1999年の感染症法施行以降の調査において2022年に次いで多い状況です。

年齢別では、男性は20歳代から50歳代の幅広い年代に多く、女性は20歳代が最も多くなっています。また、先天梅毒は、2016年から2021年の間報告がありませんでしたが、2022年の2件に続き、2023年も1件報告されています。

梅毒は、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。早期の治療で完治しますが、治療をしないまま放置すると、心臓や血管、脳などの臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

また、妊娠している人が感染すると、死産や早産になったり、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたす先天梅毒になることがありますので、感染予防と早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp